

葦原中だより

学校だより
7月号

在籍生徒数

7月1日現在
1年 81名
2年 103名
3年 99名
にじいろ学級 7名

学校所在地

〒356-0001
ふじみ野市川崎
310番地

★入間東部大会及び市内予選（敬称略）

（サッカー） 本郷中（惜敗）

（卓球） 団体・予選リーグ惜敗
（個人・単）・ベスト16

（テニス男） 団体・3位

（個人）・（3位・県大会）

（テニス女） 団体・優勝（県大会）
（個人）・（5位・県大会）
（6位）

（バスケ男） 三芳東中（惜敗）
（バスケ女） 3位

（バレー女） 富士見西中（勝利）
富士見台中（勝利）
花の木中（惜敗）
富士見西中（惜敗）
大井西中（勝利）
福岡中（惜敗）

（野球） 富士見台中（勝利）
勝瀬中（惜敗）
（陸上）（2回戦惜敗）

（剣道・個人）（6位）
（陸上）（5位）

400m（6位）
3000m（5位）

走高跳（4位）
走幅跳（5位）（8位）

200m（1位・県大会）
1500m（6位）（7位）

走幅跳（3位）

走幅跳（3位）

○スクールランチタイムアタック

給食委員会主催の1学期スクールランチタイムアタックが行われました。

（1年生）1組

（2年生）2組（校内最速タイム）

（3年生）2組

幸福の原点

校長 山崎 祐一

を送る上で欠かせない資質です。祖父はスマホや最新の子育て本がなくても我が家に流れる生き方を身をもって教えてくれたと思っています。

21世紀も1/4が過ぎ、科学技術も社会インフラも格段に進歩しまし

ただの様に感じます。平気でわが子や親の命を奪ったり、特殊詐欺に係る若者が増え続けたり、世の中に誹謗中傷が溢れたり、ちょっとした人の言動が批判や不満で炎上したり、そして未だに戦争が起きたり・・残念ながら自分

は正しいと思ひ込み、他者を批判し、否定する人で溢れています。そして争いが絶えません。周囲との調和を欠き、悩みを深め、人間関係を軽んじるから孤独に陥る人が多いです。今起きている大きな変革のうねりは、限界にきた今の世が元の正常な姿に戻ろうとする揺り戻しと捉えています。

そんな時代だからこそ社会の最小単位である「家族」の存在や価値が問われています。知識や情報が溢れて何が正しくて何が真実なのかわからな

い世の中です。夫婦・親子・兄弟姉妹の間でも和を保つ意識が薄く、自らの思いを強く主張し合って互いの心が離れ離れになっています。会話も

なく心も休まらない冷たい家庭では、健康な心は育たず、健康面や学習面も含めてあらゆる面で苦しむ事になってしま

います。思いやりのある優しい心は何でも会話できる家族の心が重なった中でこそ育まれると思っています。

以前、海外ボランティア隊の一員として紛争地域や貧困地域で住民たちの支援をされた方の講演会に参加した事がありました。参加者の多くはボランティア活動に大変興味関心が高く、機会があればぜひ参加したいという志の高い人ばかりでした。講演終了後に質疑応答の場面がありました。数名の参加者から実

際の現場の様子や参加するまでの手続きなどの質問がありました。最後に講演者が参加者全員に向かってこんな言葉を投げかけました。『皆さんがこうした活動に大変興味関心を寄せて下さる事や実際に参加したいという方も多い事がとても嬉しい事です。ただし助けを必要

としている人を救う前に皆さんにはやるべき事があります。皆さんは自分の家族を幸せにしていますか。一番身近な家族を幸せにできずにどうして他人や他国を幸せにできるのでしょうか。まずはそこからです』・・その一言で会場全体が一瞬で静まり返った事は言うまでも

ありませんでした。

両親が共働きだった私は幼少の頃から祖父母に育てられました。明治生まれの祖父母は今の様な知識も情報も学歴もありませんでした。厳しさと深い愛情をもって私を育ててくれました。祖父はいつも乗り物好きの私を電車やバスに乗せてくれました。祖母は学校から帰ると「お腹すいただろう」と必ずラーメンを作ってくれました。祖父母の口癖は「お天道様が見ているから絶対に悪い事や人に迷惑をかけてはいけな

い」・・普段優しい祖父母から厳しく言われた言葉です。当時はスマホもコンビニもない生活でしたが、家族全員が会話して助け合う心豊かな生活が送れていました。60年程前の祖父母の優しい笑顔や畏敬の念を抱いたお天道様の存在は今でも心の中に刻まれています。

以前にも3歳までは無条件で我が子に深い愛情を注いでほしいとお伝えしました。親や家族に愛されるという経験や喜びは生きる力の源です。そして5歳までに物事や行為の善悪を教えてほしいとお伝えしました。人として社会生活

★第55回体育祭

雨天により二度延期された本年度第55回体育祭が6月4日(水)晴天の下で盛大に開催されました。本年度は来賓席・福祉席に加えてPTA本部席を設けました。また日除け用テントも元福小さんや上野台小さんのご協力を得てPTA本部役員やおやじの会や健全育成会の皆様のご尽力で設置することができました。開会式から葦中生らしいきびきびした動作や魂の籠った所作が至る所で見られました。ラケット&ボール走や大玉転がしでは順位が目まぐるしく変わる白熱した競争が行われました。また葦中伝統の応援合戦では、団ごとに工夫された熱いパフォーマンスが披露され、見る人の心を打つ素晴らしい演技でした。そして最後の学年種目では担任と生徒との深い絆を感じられる光景が見られました。更にスロガン紹介では美術部が作成した見事な作品やパフォーマンス用の小道具を生かした素晴らしい演技が全校生徒や保護者の皆様の前で披露されました。今年も魂が震える体育祭でした。

★団優勝(赤団) 応援賞(青団)

★生徒ボランティア除草

6月12日(木)緑化委員会主催の生徒ボランティア除草が昼休みに行われました。200名以上の生徒が自主的に参加して校舎回りを除草しました。本当にありがとうございました。

★スマイルーム(困りごとお話し会)

7月5日(土) 15:00よりステライーストにて第1回スマイルームを開催致します。今回も4校(日々輝学園高・星槎国際高・おおぞら高・埼玉みらい高)を招いての進路説明会や子育て等を語り合う場も設けます。

★認知症サポート講座

6月12日(木)2年生対象に本校体育館において認知症サポート養成講座が実施されました。「認知症とは」の講義、ロールプレイを行った「認知症の方への支援」「OXクイズ」を通して、認知症への理解を深めました。

★小中連絡会

6月27日(金)元福小・西小の先生方が来校して本校の現状を小学校の先生方に参観していただきました。1年生は小学校時代にお世話になった先生の姿に笑顔が溢れていました。

★学総大会壮行会

6月17日(火)体育館にて壮行会が開催されました。各部活動とも気持ちの籠った熱いメッセージが語られました。3年生の団長による熱いエールも見事でした。

★租税教室

6月24日(火)、2年生は税務会計事務所よりお呼びして租税教室を行いました。税に対する関心が高まる場となりました。

※つれづれなるままに・・・

ある新聞の人生相談にこんな内容が載っていました。『小さな会社と同じ部署の狭い人間関係の中ででき事です、上司や先輩から飲み会に誘われる事が苦痛で心を閉ざす様になりました。仕事量も多く不安になり1か月休職しました。今後どうしても関わりたくない人たちからの飲み会への対応はどうしたらよいのでしょうか・・・』

回答者は『答えは簡単です。仕事上は上司や先輩であつてもプライベートではただの他人です。あなたはそもそも意に沿わない命令に服する義務はないし、そもそも他人があなたを命令する権利などありません。断る事に遠慮はいりません。上司はあなたよりも先に定年を迎えます。その日を待ちながら働かれて下さい』・もちろん相談者からの情報だけの回答には限界があるとは思いますが。しかしこの助言で周囲とのわだかまりが消えて今後良い仕事ができるのか、狭い人間関係の中で更に孤立しないのか、休職時の仕事の肩代わりへの感謝をどう考えているのか、そもそも家族に相談したのか・相談者に寄り添いながらも、上司や先輩を関わりたくない人たちと決めつけて一方的に人間関係を切るのではなく、接点を求める助言を一つぐらい添えても良かったのかな・と思いました。

★吹奏楽発表会

6月14日(土)狭山市民会館において西部支部吹奏楽研究発表会が開催されました。本校の吹奏楽部は「土蜘蛛伝説」を演奏しました。日頃の練習成果を思う存分発揮して見事なパフォーマンスを披露しました。

★7月の学校等の予定

1日(火)	あいさつ運動①・葦ゼミ
2日(水)	あいさつ運動②
3日(木)	期末試験①(4教科)
4日(金)	期末試験②(4教科)
5日(土)	葦原祭事前準備
7日(月)	葦原祭・スマイルーム 振替休業日
8日(火)	生徒総会リハーサル・木曜日課
9日(水)	3年進路講演会
10日(木)	生徒総会・火曜日課
11日(金)	授業参観・保護者会・短縮⑤
14日(月)	部活動なし
15日(火)	専門委員会
16日(水)	表彰朝会
17日(水)	短縮④・給食最終日
18日(金)	1学期終業式・部活動なし
19日(土)	夏季休業日(8/24)
20日(日)	陸上学総県大会①
22日(火)	陸上学総県大会②
23日(水)	全校三者面談①
24日(木)	全校三者面談②
25日(金)	(学級により三者面談あり)
28日(月)	全校三者面談③
29日(火)	全校三者面談④ 全校三者面談⑤